

No	寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
1	イベントや災害、健診案内など区のさまざまな情報を一元化し、誰もが簡単に一括して情報を受け取れるようにする。 また、LINEチャットによるAI回答を可能にし、問い合わせ対応をスムーズにする。	令和7年度に実施予定	令和7年6月に実施する区ホームページリニューアルに伴い、イベント情報、子育て・教育、オンライン申請などの特設ページを設置することで、より分かりやすい情報発信を行います。 また、LINEの拡張機能を活用して、区から対象者にプッシュ型での情報配信を行い自身に関連する情報を受け取れるほか、給付金等の申請などは、チャット形式で回答していただくだけで手続きができるような環境を整備することで、区民サービスのさらなる向上を図ります。
2	としまけいばんをディスプレイ化したうえで、子ども向けにはひらがな・外国人向けには外国語・視覚障害者向けには読みあげ等の機能を設け、誰もが情報を得られるようにする。	既存事業にて実施	区役所本庁舎では、現在8か所にデジタルサイネージを設置し、区政情報を配信しています。 また、区ホームページは、音声読み上げ機能を備え、ふり仮名表示に切り替えることが可能なほか、121言語の自動翻訳機能も有しております。 さらに、本年6月のホームページリニューアルでは、自動翻訳機能のさらなる充実や、やさしい日本語機能を新たに導入するなど、誰もが簡単に情報を得られるよう取り組みを進めています。 ▶豊島区公式ホームページ https://www.city.toshima.lg.jp/
3	小学生の子がいる世帯に対するキッズ携帯の購入補助を通じ、子供とその親視点での危険な場所、不審者情報を豊島区へ提供することにより、安心したまちづくりへ寄与する	既存事業にて実施	小学生の通学時の安全対策として、①学校に登校したか確認できるシステムの導入（みまもるめ）、②学校保護者連絡システム（すぐる）での危険情報等の保護者への連絡、③防犯カメラの要所への設置、④登下校時の見守りとして学童安全通学指導員の配置、⑤通学路の合同点検、⑥防犯ブザーの配布など様々に行っています。加えて、通学路の危険な箇所の確認等については、今後もコミュニティ・スクールの中で地域の皆様と一緒に取り組んでいきます。
4	幼稚園や小中学校、区民ひろば等区民の身近な場所へ冷水器を設置することで、子供達の熱中症対策と健康の維持管理を推進する。	既存事業にて実施	区有施設に冷水の供給が可能な給水機を設置し、マイボトル利用の促進とともに熱中症予防対策を図っています。 令和7年3月現在、区民ひろば、図書館、区役所本庁舎、区民事務所、子ども家庭支援センター、中高生センタージャンプ、池袋保健所、長崎健康相談所、男女平等推進センター等に給水機を設置済みです。また、ほとんどの公園において水飲み場を設置済みです。 なお、学校については全ての中学校及び子どもスキップに冷水器を設置しています。 そのほか、夏季に厳しい暑さを一時的にしのぐための場所として、誰でも気軽に立ち寄って冷房の効いた空間で休憩できるよう、区有施設や区内一部の薬局を「涼みどころ」(区有施設「としま涼みどころ」、薬局「涼みどころ薬局」として開放しています。
5	池袋駅周辺やメインストリート、イクサンパークなどの公園や、区民集会室で無料で使えるwifiを設置・拡充する。	既存事業にて実施	区有施設や南池袋公園、雑司が谷公園丘の上テラス、イク・サンパークなどの公園、池袋 大塚 巣鴨などの区内駅周辺、防災拠点等に整備済みです。 区民集会室については、令和6年度よりWi-Fi設置を進めており、現在9カ所に導入しています。今後も設置施設を増やしてまいります。
6	・豊島区在住の映像クリエイター向けのワークショップを開催し、様々な角度から豊島区の魅力の詰まった映像作品を制作・発信する。 ・豊島区内の名所を知ってもらうための1分程度のムービーを数種類作成してYoutubeなどへアップし、該当する名所にはその場でスマホから見れるようQRコードを設置する。	既存事業にて実施	豊島区の魅力を伝えることを目的とした映像は、区だけでなく民間でも制作しており、まちを挙げて発信に取り組んでいるところです。 類似の取り組みとして、豊島区がオブザーバーとして参加している、「池袋インバウンド推進協会」のホームページでも動画が配信されています。 また、令和7年度は、区の魅力発信を行っている「IKE-CIRCLE（区公式ホームページ）」を大幅リニューアルするほか、「区の多様な魅力」に対し、豊島区内外から興味関心・共感を得るため、PR効果の高い区の魅力情報を動画化し、ターゲットに向けて広告配信する事業を展開予定です。広告の遷移先をリニューアル後の区公式ホームページとし、新規訪問数の獲得を促します。 今後も、様々な主体と連携しながら、効果的に国内外の多くの方々に豊島区の魅力を伝えていきます。 ▶豊島区公式 としま ななまるチャンネル（区ホームページ） https://www.city.toshima.lg.jp/011/kuse/koho/1910231133.html ▶池袋インバウンド推進協会ホームページ https://ikebukuro.guide/ ▶IKE-CIRCLE（区ホームページ） https://www.city.toshima.lg.jp/ike-circle/index.html
7	ふるさと納税のワンストップ特例申請をオンラインで行うことが可能なサービスを導入する。	既存事業にて実施	令和6年10月にワンストップ特例申請のオンライン受付を開始しました。 詳細は下記の豊島区ホームページをご確認ください。 ▶返礼品を活用したふるさと納税の寄附について>ワンストップ特例申請について https://www.city.toshima.lg.jp/540/2311291428.html
8	ARやGPS、ログ解析などの様々なデジタル機能を組み合わせ、地域の魅力を楽しみながら探検する体験型コンテンツを制作し、マンガ・アニメの町としての観光客誘致や、国際アート・カルチャー都市としての発展を目指す。	既存事業にて実施	令和6年度はマンガ・アニメ作品と連携しての豊島区周遊を図るデジタルラリーを複数実施しました。 ①アニメツーリズム協会が認定する「アニメ聖地88」の一つとして豊島区も認定された『BanG Dream!』シリーズと連携。区民ひろばとも協力。（2024年8月1日～8月31日） ②20周年を迎えたアニメ「銀魂」と区の「はたちのつどい」とを連携させた企画。（2025年1月7日～1月31日）期間限定でフォトスポットも設置。 ③アニメツーリズム協会と連携し、同じくアニメ聖地88に認定されている「デユララ!!」シリーズのアニメ15周年・文庫20周年と連携。国際興業バス池07系統でのラッピングや車内装飾も実施。（2025年2月1日～3月31日） また、大正大学との学生との連携企画として大塚、駒込・巣鴨、雑司が谷、長崎・南長崎の4エリアを対象としたスタンプラリー企画を実施しました。学生を中心に各エリアの見どころを載せて楽しみながらまち歩きができるマップを用意し、ゴール地点となる東口観光案内所ではスタンプラリー参加者に各エリアで訪問したお店や観光スポットの有無、満足度などを聞いてエリア毎のデータ収集も行うようにしました。 引き続き誘客促進・区内回遊できる企画を検討・実施していきます。

No	寄せられた提案の概要（類似内容の提案をまとめて記載しています）	対応	区の考え・対応状況
9	フクロウに関連する謎解きゲームやクイズを楽しむ、フクロウとともに地域を巡るコミュニティバスを運行する。	既存事業にて実施	現在IKEBUSを活用して、池袋駅周辺の通常運行だけでなく、貸切ツアーとして、区内の観光施設を巡る企画や、イルミネーション等の季節に応じたツアー企画、謎解き企画など提案と類似する事業を実施しています。今後も、IKEBUSのさらなる活用促進を図っていきます。 ▶IKEBUSについて（区ホームページ） https://www.city.toshima.lg.jp/333/machizukuri/kotsu/bus/1910312223.html
10	作品を発表する機会の少ない若手芸術家、一般区民に、デジタル技術を活用して、絵画、写真、書道、陶芸、映像、漫画、キャラクター等のアート作品を発表する機会を提供する。また、豊島区による表彰制度を創設する。	既存事業にて実施	若手作家や一般区民への発表機会の提供、表彰制度の創設については、「豊島区総合美術展 みんなのギャラリー」や「池袋モンパルナス回遊美術館（アーティストデビュー展等）」で既に実施しています。 また、SNS等での周知や大賞作品の発表をホームページ上で行っております。 ▶豊島区総合美術展 みんなのギャラリー（としま未来文化財団HP） https://www.toshima-mirai.or.jp/tabid216.html?pdid1=3182 ▶池袋モンパルナス回遊美術館（実行委員会HP） https://kaiyu-art.net/
11	要介護対象になった家族と、包括支援センターのご担当、ケアマネージャー、入院など先の連携担当との情報の一本化を進める	既存事業にて実施	提案内容と類似のシステムである非公開型医療介護連携コミュニケーションツール「MCS（メディカルケアステーション）」を豊島区医師会が導入し、普及活用を行っております。今後も継続して普及に取り組んでまいります。
12	小中学校の紙の配布物をデジタル形式に変換し、電子メールやオンラインプラットフォーム（Google Classroomなど）を通じて配布する。	既存事業にて実施	区が一元管理している学習系端末(Chromebook)及びGoogleアカウントにて、GoogleClassroomを活用でき、Classroomを用いた連絡手段のデジタル化のための環境が整備されています。また、保護者への連絡ツール（すぐる）により、デジタル形式による配布物の配信ができます。
13	地域住民のオンラインプラットフォームを設け、住民同士の交流や情報共有、地域活動の支援などを通じ、地域社会の活性化を図れるようにする。	既存事業にて実施	地域SNS「ピアッツァ」にて類似事業を実施しています。 ▶地域SNS「ピアッツァ」 https://www.lp.piazza-life.com/
14	公園がデジタル情報の発信の核となるよう電子表示媒体等を設置し、区の情報発信を行う。	既存事業にて実施	池袋西口公園、中池袋公園にデジタルサイネージを設置しています。 他の大きな公園への配置については、情報コンテンツの作成・更新コストや、設置コストを踏まえ、引き続き検討を進めてまいります。
15	様々な理由で外出に困難がある方が、自宅等から分身ロボットOriHimeにより人と接したり、遠方にも出かけられるようにするため、OriHimeの購入経費・レンタル経費の助成を行う。	実施に向け検討	令和6年度に実施した「障害者の新たな雇用モデルの実証実験」の1モデルとして、分身ロボットOriHimeを活用した雇用モデル実験を行いました。障害者が社会に参加する機会の創出につながるものと評価しており、今後、外出困難者も包摂した「雇用モデル」の展開を、分身ロボットの手法を含め検討してまいります。
16	すべての世代が、ゲーム要素を取り入れたオンラインプラットフォームを通じて、基本的なパソコン操作やスマホの使い方などのデジタルスキルを学べる取り組みを行う。 また、親子で学べるオンライン動画学習サービスを通じて、金融リテラシーを高めていくとともに、学習状況に応じて地域ポイントを付与し、学習インセンティブと区の経済活性を両立する。	引き続き検討	デジタルデバйд対策や地域全体のデジタルリテラシー向上については、費用面等も含め、引き続き効果・効率的な方策を検討してまいります。 金融教育に関する対面での親子や子ども対象の事業は、すでに実施済みであり今後も周知に力を入れていきます。オンライン動画学習サービスや地域ポイントについては、既存のポイント制度との差別化も含め引き続き検討してまいります。
17	シニア世代向けに、インターネットやスマホの基本的な使い方を楽しみながら学べる学習アプリを開発することで、地域のデジタルデバйдを解消し、シニアの社会参加を促進する。 また、介護保険サービス事業所に、高齢者が散歩・買い物の途中で立ち寄れるデジタル相談所を設置する。	引き続き検討	高齢者向けのスマートフォン教室を区民ひろば等で実施しており、提案の自習型のアプリについては今後の需要を見極めながら検討してまいります。 デジタル相談所については、提案のような介護事業所での常設窓口の設置は困難ですが、今後も身近にスマートフォンなどの相談ができる体制づくりを検討してまいります。
18	区内保育施設にオンラインで見学できるシステムを導入して保活を手軽に行えるようにする。	引き続き検討	映像やオンライン情報では個人情報保護の観点から一部の映像のみをお届けすることになり、園の特徴等を十分に伝えられない可能性がある等の課題があります。また、園の雰囲気や直接保護者が確認し、保育士と対話することも保育園選びの大切な判断材料となるため、区として安心して保育園を選んでもいただけるように、必要な情報を適切に伝える方法を検討してまいります。
19	手動で予防接種管理をしなければいけない母子手帳アプリに、区で把握している接種情報を連携し、接種をしたら自動で登録されるようにする。また、アプリ上で接種券を提示し、予約まで行えるようにする。	引き続き検討	今後のシステム標準化及び予防接種のDX化状況をふまえ、母子手帳アプリへの接種記録の自動連携や予診票の電子化の実現について検討してまいります。なお、子育て支援の講座受付や各事業についても母子手帳アプリを活用しており、今後も、利用者の利便性を高める取り組みを積極的に行います。
20	AIオンデマンド交通（mobi）について、運行エリア拡大や子育て世帯・障害者世帯への助成、高齢者向けスマホ教室（mobiアプリ導入）の開催、アバターコンシェルジュの車載による区窓口機能付加、アニメ文化との親和性向上を行う。	引き続き検討	AIオンデマンド交通等を含め、豊島区の公共交通のあり方を令和7・8年度の2か年で検討していく予定です。